

島田市 循環型社会形成推進地域計画

(令和元年11月変更)

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名：島田市

面積：315.88km²

人口：100,646人（平成27年3月31日現在）

(2) 計画期間

本計画は、平成28年4月1日から令和3年3月31日までの5年間を計画期間とする。

なお、本計画の目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

本市は、静岡県の中中部、大井川の中下流域に位置している。北部は山地が多く、南部は大井川によって形成された扇状地及び牧之原台地からなっている。

当地域には、東名高速道路や新東名高速道をはじめ、国道1号、国道473号などが通過しているほか、平成21年6月には富士山静岡空港が開港し、空と陸の交通アクセスが向上して国内はもとより、海外へつながる交通の拠点として注目されている。

水環境保全及び水循環に係る市民の自覚と協力のもと、市民・事業者・行政が一体となって、水質の維持改善と自然環境の保全を推進するものとする。特に、汲み取り世帯は、合併処理浄化槽による処理を進めるとともに、単独処理浄化槽世帯においても合併処理浄化槽への転換の指導を推進するものとする。

また、平成30年度以降は川根地区広域施設組合（構成町：川根本町、川根町*）の解散に伴い、川根町のし尿についても、現施設で処理を行う計画である。

*川根町：平成20年4月に島田市に編入合併している。

(4) 広域化・施設の集約化の検討状況

今回の汚泥再生処理センターの整備にあたり、川根本町との広域化を検討したところ、地理的要因や更新時期の相違などにより、現状では困難であるとの結論に至り、本計画では単独での整備を実施するものである。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 生活排水処理の現状

平成26年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は図1のとおりである。

生活排水処理対象人口は、全体で100,646人であり、水洗化人口は52,519人、污水衛生処理率は52.2%である。

し尿発生量は3,460kl/年、浄化槽汚泥発生量は、46,466kl/年であり、処理・処分量（＝収集・運搬量）は49,926kl/年である。

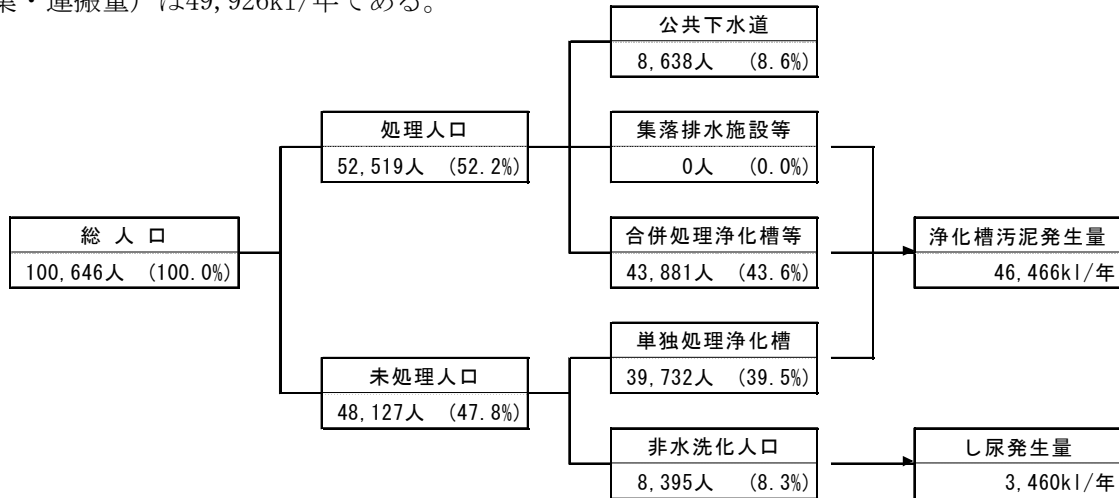


図1 生活排水の処理状況フロー[平成26年度]

(2) 生活排水処理の目標

公共下水道への接続や合併処理浄化槽の整備を促進し、し尿汲み取りや単独処理浄化槽からの切り替えを推進する。

表1 生活排水処理に関する現状と目標

		平成26年度実績	令和3年度目標
処理形態別人口	公共下水道	8,638人 (8.6%)	9,800人 (10.5%)
	農業集落排水施設等	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
	合併処理浄化槽等	43,881人 (43.6%)	58,894人 (62.9%)
	未処理人口	48,127人 (47.8%)	24,919人 (26.6%)
	合計	100,646人	93,613人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	3,460kl	1,233kl
	浄化槽汚泥量	46,466kl	48,685kl
	合計	49,926kl	49,918kl

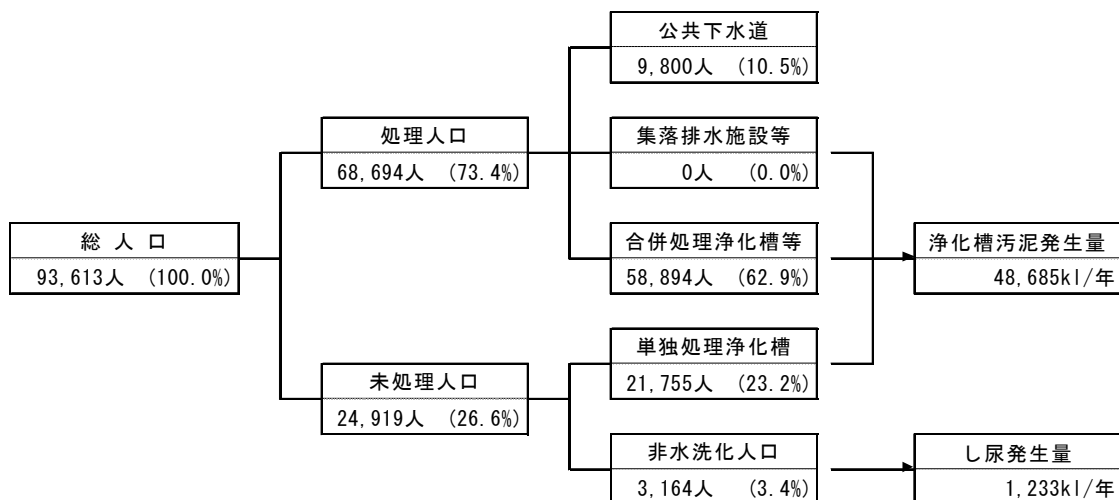


図1 目標達成時の生活排水の処理状況フロー[令和3年度]

3 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア 生活排水に係る意識啓発

生活排水による河川の水質汚濁を低減するため、各家庭及び事業所に対し、環境負荷の軽減に繋がる生活雑排水対策について、指導・啓発をしていく。特に工業排水に関しては、水質汚濁防止法に基づく規制・指導を行っていく。

河川・水路等の水質改善を図るため、浄化槽の維持管理の徹底、生活雑排水対策などを市民と一体となって展開していく。

(2) 処理体制

ア 生活排水処理の現状と今後

公共下水道への接続や合併処理浄化槽の整備を促進し、し尿汲み取りや単独処理浄化槽からの切り替えを推進する。

また、し尿・浄化槽汚泥の処理については、「島田市クリーンセンター」を汚泥再生処理センターとして整備し、汚泥等を有効利用(助燃剤化)することにより、循環型社会の形成を図る。

イ 今後の処理体制の要点

- ◇ 合併処理浄化槽の普及
公共下水道計画区域外では、合併処理浄化槽の普及を進める。設置に対して補助を行っていく。
- ◇ 下水道施設の整備
公共下水道計画区域においては、下水道施設の整備を促進する。特に事業認可区域における整備と普及を進める。
- ◇ 汚泥再生処理センターの整備
「島田市クリーンセンター」を汚泥再生処理センターとして整備することとし、汚泥等を有効利用(助燃剤化)することにより、循環型社会の形成を図る。

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

表2のとおり必要な施設整備を行う。

表2 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	汚泥再生処理センター (有機性廃棄物リサイクル推進施設)	クリーンセンター 整備事業	152kl/日	島田市金谷東 二丁目3483番 地の269	H30～R2

(整備理由)

事業番号1 し尿処理施設の老朽化、し尿処理汚泥の再生利用促進

イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、表3のとおり行う。

表3 合併処理浄化槽の整備

事業番号	事業名	直近の整備済 基数 (基)	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間
2	浄化槽設置整備事業	5,407	2,250	8,401	H28～R2

注) 直近の整備済基数は、平成13年度以降の数値。それ以前は把握していない。

(4) 施設整備に関する計画支援業務

(3)の施設整備に伴い、以下の計画支援事業を表4のとおり行う。

表4 計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	汚泥再生処理センター基本設計	基本設計	H28
	生活環境影響評価	生活環境影響評価	H28
	工事発注支援	工事発注支援	H29

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 基本計画の進行管理

循環型社会形成に向け、島田市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について、各年度に進捗チェックを行い、現状分析、課題抽出により次の施策検討を行う。

また、目標達成状況など、公表し、施策実施状況等の検証を行う。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、静岡県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成28年度)

1 地域の概要

(1) 地域名	島田市	(2) 地域内人口	100,646人	(2) 地域面積	315.88km ²
(4) 構成市町村等名	島田市	(5) 地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 (過疎) その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村： 設立されていない場合、今後の見通し：				

2 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		形式及び処理方式	補助の有無	処理能力	開始年月	更新、廃止 予定年月	更新、廃止、新設理由	形式及び処理方式	施設竣工 予定年月	処理能力	
し尿処理施設	島田市	酸素ばっ気低希釈二段汚泥 活性法	有	110kl/日	H 2. 2	R3. 3	汚泥再生処理センター として整備する。	酸素ばっ気低希釈二段汚泥 活性法	R3. 3	152kl/日	

様式 2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成28年度)

事業種別 事業名称	事業番号	事業主体 名称	規模 単位	事業期間 交付期間		総事業費 (千円)					交付対象事業費 (千円)					備 考			
				開始	終了	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度				
○し尿処理に関する事業																			
汚泥再生処理センター整備	1	島田市	152	kl/日	H30	R2	2,135,981	0	0	38,686	1,051,801	1,045,494	1,948,184	0	0	32,562	1,039,270	876,352	
○浄化槽に関する事業																			
浄化槽設置整備	2	島田市	2,250	基	H28	R2	632,584	116,500	116,500	116,500	116,500	166,584	558,660	104,088	104,088	104,088	104,088	142,308	
○施設整備に関する計画支援事業																			
事業番号11に係る基本設計・発注支援等業務							39,040	30,240	8,800	0	0	0	39,040	30,240	8,800	0	0	0	
基本設計及び生活環境影響調査	31	島田市			H28	H28	30,240	30,240	0	0	0	0	30,240	30,240	0	0	0	0	
発注支援	31	島田市			H29	H29	8,800	0	8,800	0	0	0	8,800	0	8,800	0	0	0	
合 計							2,807,605	146,740	125,300	155,186	1,168,301	1,212,078	2,545,884	134,328	112,888	136,650	1,143,358	1,018,660	

様式 3

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考	
					開始	終了		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度		
発生抑制、 再使用の推 進に関する もの	11	生活排水に係る 意識啓発	排水対策等の周知徹底	島田市	H28	R2								
処理施設の 整備に関す るもの	1	汚泥再生処理セン ター (有機性廃棄物リサ イクル推進施設)	汚泥の有効利用を配慮した 循環型社会の形成を目指し た施設整備事業	島田市	H30	R2	○							
	2	浄化槽設置整備 事業	浄化槽設置整備事業	島田市	H28	R2	○							
施設整備に 係る計画支 援に関する もの	31	事業番号 1に係 る発注支援等業 務計画支援	発注支援等業務	島田市	H28	H29	○	基本 設計	工事発 注支援					
								影響 調査						

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	島田市
(2) 施設名称	島田市クリーンセンター
(3) 工期	平成30年度～令和2年度
(4) 施設規模	処理能力 152kl/日
(5) 形式及び処理方式	酸素ばっ気低希釈二段汚泥活性法
(6) 地域計画内の役割	市から発生するし尿、浄化槽汚泥を適正に処理し、発生する余剰汚泥は助燃剤として、焼却施設で利用する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「汚泥再生センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	助燃剤化
(9) 資源化物の利用計画	焼却施設の助燃剤

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び面積	人口 人 面積 m^2
(11) 地域計画の性格	

(12) 事業計画額	2,135,981千円 $\left(\begin{array}{l} \text{H30 : 38,686千円} \\ \text{H31 : 1,051,801千円} \\ \text{R2 : 1,045,494千円} \end{array} \right)$
------------	--

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	島田市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置する者に対し、合併処理浄化槽設置補助金を交付する。
(4) 事業期間	平成28年度～令和2年度
(5) 事業対象地域の要件	浄化槽設置整備事業実施要綱の第3(1)7(キ)に該当する地域
(6) 事業計画額	交付対象事業費 558,660(千円) 総事業費 632,584(千円)

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

区分	交付対象基数 (人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	1,390基(5,190人分)	178基	461,480千円	372,244千円	329,950千円
6～7人槽	740基(2,763人分)	158基	306,360千円	230,026千円	199,110千円
8～10人槽	120基(448人分)	10基	65,760千円	30,314千円	29,600千円
11～20人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
21～30人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
改築	基(人分)	基	千円	千円	千円
計画策定調査費	基(人分)	基	千円	千円	千円
合計	2,250基(8,401人分)	346基	833,600千円	632,584千円	558,660千円

計画支援概要

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	島田市	
(2) 事業目的	汚泥再生処理センター整備のため	
(3) 事業名称	汚泥再生処理センター 基本設計及び生活環境影響調査	工事発注支援業務
(4) 事業期間	平成28年度	平成29年度
(5) 事業概要	基本設計、生活環境影響調査	工事発注支援
(6) 事業計画額	30,240千円	8,800千円

【添付資料1：トレンドグラフ】

生活排水処理形態別人口のトレンドグラフを図-1に示す。

(単位：人)

年度	実績					計画						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
総人口	102,870	102,313	101,693	101,159	100,646	97,555	96,915	96,275	95,635	94,995	94,356	93,613
公共下水道	8,137	8,271	8,446	8,546	8,638	8,801	8,921	9,032	9,144	9,267	9,535	9,800
集落排水施設等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合併処理浄化槽等	29,980	38,061	42,753	43,665	43,881	48,037	50,513	52,726	54,692	56,421	57,801	58,894
未処理人口	64,753	55,981	50,494	48,948	48,127	40,717	37,481	34,517	31,799	29,307	27,020	24,919

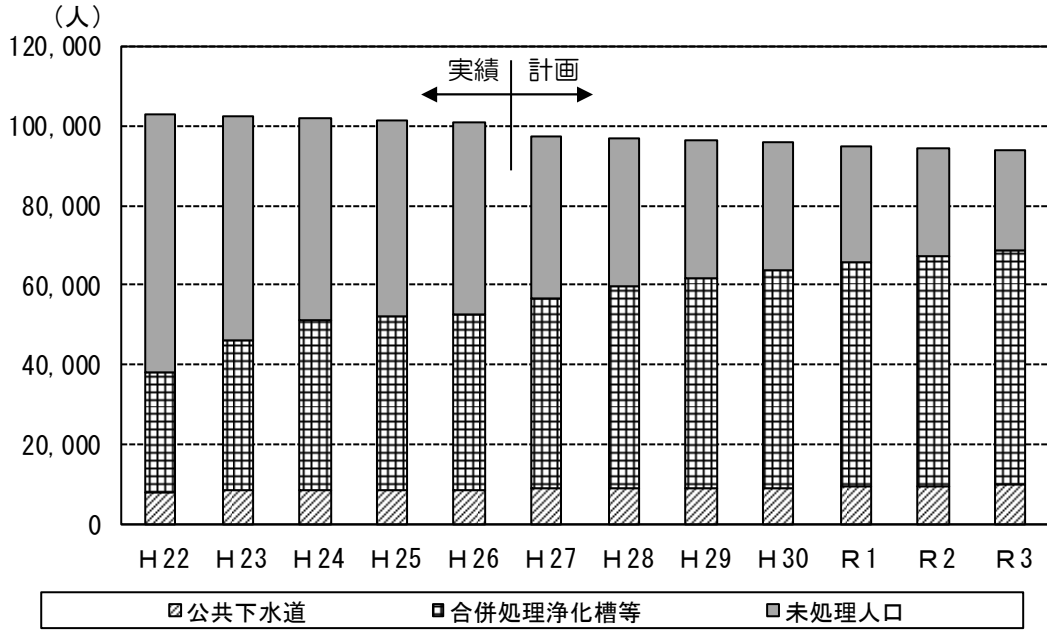


図-1 生活排水処理形態別人口のトレンドグラフ



図-2 計画予定位置図